




脱炭素社会に向けた市民会議

脱炭素社会に向け 真庭の未来を考えよう

脱炭素や再エネ推進を通じて地域に元気を

2025/R7年1月20日(月) @真庭めぐりガーデン

本日の流れ

開会挨拶・自己紹介  10分

市民会議について～振り返りと導入～10分

真庭あぐりガーデンの取り組み（お話） 10分

 見学） 30分

<休憩>

循環で持続可能な真庭の農業

大阪大学と連携した有機太陽電池（OSC）

の取組紹介

各10分

循環型稲作への挑戦

 感想やアイデア、質問の共有25分

本日のまとめ 5分

19時00分頃終了予定です



自己紹介をしよう(一人一分程度)

- ・ お名前、居住地域、年代/年齢 など
- ・ あぐりガーデンに来たことがある/今日が初
- ・ 今日 参加した理由は？
- ・ 最近気になった「脱炭素/カーボンニュートラル」
にまつわるトピックスは？

【進め方】

1. 今日「起きた時間」で一番早く起きた人から出発
2. 右回りで 自己紹介

脱炭素市民会議@真庭について

これまでの振り返りと今日の目標

脱炭素に向けた市民会議

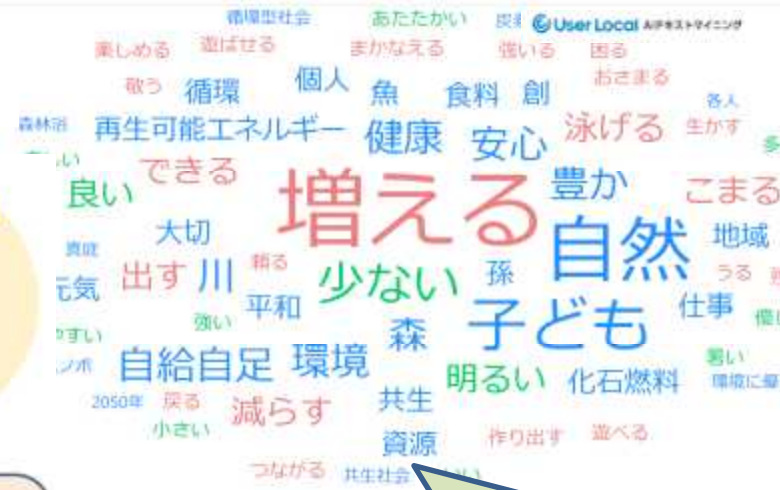
R4年度に5回、R5年度 3回＋番外編

やるべきことの
具体策



2050年の真庭市の姿

VISION



「2050年に、真庭市
が真庭市として**存続し**
ていてほしい」
(現役高校生)

第4回
12/14 (20名)
関係主体のアクションと連携

第3回
10/27 (22名)
真庭の現状と各種
対策・事例紹介

第2回
9/28 (26名)
アンケート結果
共有とアクション
検討

第1回
8/29 (32名)
国/市の施策と
市民が考える
市の将来の姿

第5回
2/9 (19名)
市への提言
案の検討



真庭市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

Maniwa Civil Action

～みんなで挑む、シビれるアクション
地域をうるおす、ゼロエミッション～

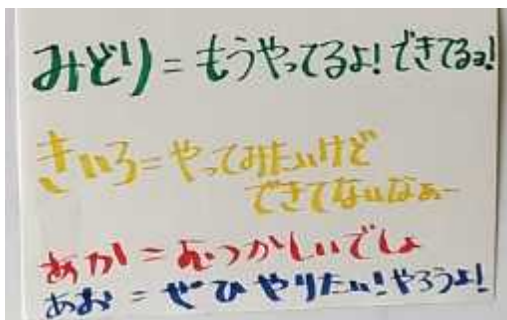


2023年4月
真庭市



Maniwa Civil Actionの 周知とチェック

(2023年11月23日@二川ミライエにて)



具体的な対策・施策・取り組み (続き)

2. 大規模災害時にも安心してエネルギーを活用できる体制の整備

	行政	市民	事業者
公共施設への再生可能エネルギー発電設備及び蓄電池の最大限の導入	●	○	○
公用車(普通自動車)の次世代自動車への転換	○	○	○
↳ EVシェアリングの実施・活用	○	○	○
自主発電設備の導入が困難な指定避難所への給電体制整備	●●●	○	○

3. 環境にやさしいライフスタイル・経営の実践

	行政	市民	事業者
■ 今から取り組めること			
ごみの減量の推進			
↳ 食べきれない量の購入(量り売りの利用など)や、保存方法を工夫する	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●
旬の食材や地元産食材を極力選択する	○	○	○
ごみの分別、リサイクル等、資源の再利用化の推進			
↳ 特に生ごみ・資源ごみの分別の推進	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●
↳ フードバンクへの寄付・てまどり等、食品ロスの削減	○	○	○
↳ 長く使えるもの、リサイクル品、環境に配慮した製品を選ぶ	●●	○	○
クールチョイス/クール・ウォームピズなどの取り組みの推進			
↳ マイバックやマイボトルを利用し、プラスチック等の“使い捨て”を減らす	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●
↳ 紙の両面利用、ペーパーレス化や包装の簡素化等に努める	●●	○	○
↳ 無理のない範囲で節水・節電や過度な空調利用を控える	●●●●●	○	○
自転車や公共交通機関を利用する	○	○	○
エコドライブの実施やカーシェアリングを活用する	○	○	○

テレワーク・オンライン会議など働き方を工夫する	○	○	○
宅配ボックスの設置や通知サービスの利用など、宅配は1回で受け取る	●●●●	○	○
若年層からの環境教育の推進	●●●●	○	○
生産工程における温室効果ガス排出抑制に努める	○	○	○
植林やごみ拾いなど、環境保全活動へ参加する	●●●●	○	○
緑化を推進する	●●	○	○

	行政	市民	事業者
■ 購入・買い替え時や改修・リフォーム時に検討できること			
公共施設への再生可能エネルギー発電設備の最大限の導入【再掲】	○	○	○
公用車(普通自動車)の次世代自動車への転換【再掲】	○	○	○
市民・市内企業の省エネ化や太陽光・EV・蓄電池等導入の推進	○	●	○
EVの普及に向けた充電環境の整備	○	○	○
住宅・ビル等のZEH化、ZEB化や省エネ化への改修・新築の促進	○	○	○
雨水利用、工場排水の再利用等	○	○	○



今年の市民会議では

- ✓ 具体的なテーマを設けて脱炭素と暮らしのつながりを考える

第1回 10/2 「ごみと資源」と「脱炭素」

第2回 1/20 「食と農」で脱炭素な暮らし

第3回 3/13 「地域新電力」

- ✓ 輪を広げるために、上半期に3地域でカードゲームを実施

9/2 in 落合 10名

9/10in勝山 14名

9/19in 蒜山 11名



第1回「ごみと資源」×「脱炭素」 10月2日

R6年度 脱炭素市民会議 第1回 真庭市役所環境課の資料より

脱炭素社会に向けた真庭市の廃棄物処理

～混ぜれば「ごみ」 分ければ「資源」～

CENTRAL
GARDEN
MANIWA

真庭市くらしの循環センター
「まにくるーん」

生ごみ等資源化施設

メタン発酵槽

バイオ液肥濃縮施設

ガス貯留装置

生ごみは無料で出せるので経費負担が減る（可燃ごみは有料袋）

生ごみは24時間いつでも生ごみ回収容器に出せるのが良い

真庭市役所環境課

何よりも燃えるごみの排出回数が減った

資源循環とは

- 製品を**廃棄せず**、**資源として循環させる**考え方
→今までごみにしていたものを資源としてくり返し使う、無駄のない社会＝「**循環型社会**」
→製品だけではなく、「**ごみ**」全般に拡大 →「**地域資源**」
- 資源循環に基づいた社会経済システムのあり方が、**サーキュラーエコノミー**



真庭の資源循環拠点

第11回「グッドライフアワード」(環境省主催)地域コミュニティ部門で環境大臣賞を受賞



引用: <https://maniwa-agurigarden.com/aboutus/>

目指すは地域への還元とワクワク感アップ

「日本一お節介のまち」を目指して
～真庭あぐりガーデンの取り組み～

真庭あぐりガーデン
木島 京子 さん



脱炭素社会に向けた市民会議

✓ 質問したいこと

あとで共有します

✓ 見学した感想

✓ こんなことしてみたら？のアイデア

などを思い浮かべながら見学してください。

感想や質問、アイデアを共有しましょう



- ✓ 質問したいこと
 - ・どの部分の何について(具体的に)
- ✓ 見学した感想
- ✓ こんなことしてみたら？
こんなことしてみようかな？ のアイデア



脱炭素社会に向けた市民会議

ただいま休憩中

再開は 時 分です

真庭の資源循環拠点

第11回「グッドライフアワード」(環境省主催)地域コミュニティ部門で環境大臣賞を受賞



引用: <https://maniwa-agurigarden.com/aboutus/>

目指すは地域への還元とワクワク感アップ

循環で持続可能な真庭の農業

真庭市農業振興課農政企画室長
藤田浩史さん

大阪大学と連携した有機太陽電池 (OSC) の 取組紹介

真庭高校 香井 かつきさん

循環型稲作への挑戦

株式会社真庭技建
代表取締役 初本隆浩 さん

食と農の循環の中で私たちにできることはなんだろう



出典: 真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合ホームページ

「食と農」に関するManiwa Civil Action

真庭市環境意識向上推進計画（区域版）

Maniwa Civil Action

→みんなで携わ、シビれるアクション
地球をうるおす、ゼロエミッションへ

2023年4月
真庭市



具体的な対策・施策・取り組み（続き）

3. 環境にやさしいライフスタイル・経営の実践

■ 今から取り組めること	行政	市民	事業者
ごみの減量の推進	○	○	○
↳ 食べきれぬ量の購入（量り売りの利用など）や、保存方法を工夫する		○	○
旬の食材や地元産食材を極力選択する	○	○	○
ごみの分別、リサイクル等、資源の再利用化の推進	○	○	○
↳ 特に生ごみ・資源ごみの分別の推進	○	○	○
↳ フードバンクへの寄付・てまえどり等、食品ロスの削減	○	○	○
↳ 長く使えるもの、リサイクル品、環境に配慮した製品を選ぶ	○	○	○
クールチョイス/クール・ウォームビズなどの取り組みの推進	○	○	○
↳ マイバックやマイボトルを利用し、プラスチック等の“使い捨て”を減らす	○	○	○
↳ 紙の両面利用、ペーパーレス化や包装の簡素化等に努める	○	○	○
↳ 無理のない範囲で節水・節電や過度な空調利用を控える	○	○	○
自転車や公共交通機関を利用する	○	○	○
エコドライブの実施やカーシェアリングを活用する	○	○	○

食の環境負荷の見える化

環境負荷低減の取組の推進

環境負荷低減の取組の「見える化」

生産段階における環境負荷低減の取組を評価し、星の数で消費者に分かりやすく伝える「見える化」の取組を進めています。

温室効果ガス削減への貢献

生産者の栽培情報を用いて、**定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定**し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献率を算定。

対象生産者の栽培方法
での排出量(品目別)
地域の標準的栽培方法
での排出量(品目別)

排出(農薬、肥料、燃料等)
-吸収(バイオ炭等)

100% - $\frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域の標準的栽培方法での排出量(品目別)}}$ = 削減貢献率(%)

★ : 削減貢献率 5%以上
★★ : " 10%以上
★★★ : " 20%以上



対象品目: 23品目

米、トマト(露地・施設)、キュウリ(露地・施設)、ミニトマト(施設)、なす(露地・施設)、ほうれん草、白ねぎ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、にんじん、大根、アスパラガス、リンゴ、温州みかん(露地・施設)、ぶどう(露地・施設)、日本なし、もも、いちご(施設)、茶

※括弧書きがないものは全て露地のみ

生物多様性保全への配慮 ※米に限る

生物多様性保全の取組の得点に応じて評価し、温室効果ガスの削減貢献と合わせて表示。

<取組一覧>

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減(5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

★ : 取組の得点 1点
★★ : " 2点
★★★ : " 3点



食関連のカーボンフットプリント

食のバランスを見直す



バランスの取れた食事に
120 kg-CO₂の削減



菓子・アルコール・
ジュースを減らす
140 kg-CO₂の削減

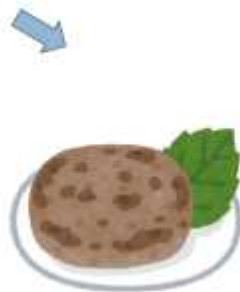


地元の野菜や果物を食べる
10 kg-CO₂の削減
旬の野菜や果物を食べる
50 kg-CO₂の削減

動物性食品を減らす



完全菜食（ヴィーガン）
390 kg-CO₂の削減



肉類を代替肉に
200 kg-CO₂の削減



肉類を鶏肉のみに
80kg-CO₂の削減



食品ロスをゼロに
60 kg-CO₂の削減



みやま市バイオマスセンター
「ルフラン」
Refrain

を紹介します!

みやま市
が活用する
の地産地消

福岡県みやま市 ルフラン

真庭と類似の生ごみ分別によるメタンガス発酵
ガス化施設を2013年より運用中
(第1回市民会議で事例として紹介)



みやま市バイオマスセンター「ルフラン」は
循環のまちづくりの拠点施設です。

みやま市バイオマスセンター「ルフラン」では、一日当たりの生ごみ(事業系生ごみ10トン)と家庭系生ごみ(130トン)の合計140トンを受け入れ、主に生ごみとを分別し、メタンガスを生産して燃やします。発生したメタンガスを利用してコージェネ発電を行い、施設内の電力と蒸気として活用します。発酵後の残渣は、堆肥として水稲、菜、ナブ、豆類、レンコン、惣菜などの栽培に利用します。



2013年度【基準年】の市の総CO₂排出量(9,262トン-CO₂)から、2020年度には、2,225トン-CO₂削減しており、削減率で▲24%と大きく貢献しています。

施策	CO ₂ 削減効果(t-CO ₂)	削減率	効果
①「飯江川衛生センター」の廃止	▲542	▲5%	省エネルギー施設への転換
②「バイオマスセンター」の稼働	▲578	▲6%	再生可能エネルギー設備の導入
③“生ごみ”の分別・資源化	▲1,105	▲12%	焼却ごみの削減
合計	▲2,225	▲24%	



上: みやま市ルフランパンフレットより
下: 「みやま市地球温暖化対策実行計画」
事務事業編データから引用

感想や質問、提案の共有

質疑応答タイム

- ✓ 質問したいこと
 - ・誰に対して、何について(具体的に)
- ✓ 見学した感想
- ✓ こんなことしてみたら？
こんなことしてみようかな？ のアイデア

本日のまとめ

今後の予定

✓ 脱炭素市民会議@真庭市

第1回 10/2 「ごみと資源」と「脱炭素」

くらしの循環センターを見学し、ごみと資源について考える

第2回 1/20 「食と農」と 脱炭素な暮らし ←本日

地域循環の拠点で「食と農」と「脱炭素」について考える

第3回 3/13 「地域新電力」

地域新電力についての取り組みと真庭市でのあり方を考えましょう

ぜひやりたい！ やろうよ！

1. 地域活性化の推進と地域課題の解決

地域エネルギー事業を実施する事業体の構築検討	●●●●	○*	○
豊かな森林資源を活用した木質バイオマス発電所の増設の検討	●●	○*	○
→ 森林の持続的経営体制の強化、林業・木材産業の生産性向上の取り組みの支援・担い手対策等を実施		○*	○
→ 広葉樹の活用推進や耕作放棄を利用した早生樹栽培等の推進		○*	○
二酸化炭素吸収源である森林の価値の顕在化	●●●	○	○
生ごみの資源化と濃縮液肥の活用推進	●	○*	○
省エネ製品の開発・製造・販売、導入推進		○*	○
市産材を利用した製品の開発・販売、普及・		○*	○



4. 再生可能エネルギーと地域の共生

		行政	市民
再生可能エネルギーの導入に係る促進区域 [※] の検討		○	○
FIT・FIP制度等との連携	●	○	○
再生可能エネルギー由来の電力へ切り替える	●●●●	○	○

※地球温暖化対策の推進に関する法律 第21条第5項に規定する、再生可能エネルギーの導入に係る促進区域

5. 情報発信によるシビックプライドの醸成と地域価値の向上

		行政	市民
「脱炭素の日」の設定・イベント化	●●●●●	○	○
観光事業と連携し真庭の持続可能な取り組みを発信	●●	○	○
若年世代にも届く効果的な情報発信を実施		○	○
市内における二酸化炭素排出量のモニタリング手法の検討		○	○
市民への普及啓発・市内交流事業		○	○

輪を広げるための活動も継続していきます

R6年度 脱炭素市民会議 第1回 真庭市役所環境課の資料より

脱炭素社会に向けた真庭市の廃棄物処理

～混ぜれば「ごみ」 分ければ「資源」～

CENTRAL
GARDEN
MANIWA

真庭市くらしの循環センター
「まにくるーん」

生ごみ等資源化施設

メタン発酵槽

バイオ液肥濃縮施設

ガス貯留装置

足湯カフェを計画中
…生ごみ分別にご協
力をお願いします

次回もぜひご参加ください

